

自治体におけるSNS（ソーシャルメディア）の活用方法についての研究

現代社会においてSNS（ソーシャルメディア）は、個人や企業だけではなく、政府や自治体においても、地域情報の発信や住民への重点施策の周知に加え、住民とのコミュニケーションを促進するためのツールとして、非常に重要な役割を担うようになってきました。一方で、公式アカウントを作成したにもかかわらず、継続した情報発信が滞ったり、フォロワー数が伸びなかったりと、有効な活用ができていない事例も多く見受けられます。

そこで、和歌山県庁勤務時代に、都道府県として全国初のインスタグラム公式アカウントを開業し、運用を行った経験を踏まえて、新たなフォロワーを獲得する方法や、発信力の高い投稿を継続する方法、さらにはクレーム投稿への対応方法など、自治体がSNSを開業・運用する際の課題や留意点についての研究を行っています。

和歌山県公式インスタグラムアカウント@Insta_Wakayama



行政政策における“デザインの視点”の重要性について

近年、“デザインの視点”は、製品や商品、サービス等の造形を美しく、使いやすいものにするだけにとどまらず、あらゆる場面で必要不可欠な存在となっています。

行政の現場においても、地域活性化や社会課題の解決に向け、物事の根本を見つめ、利用する人の立場からコンセプトを構築する“デザインの視点”を政策の企画・立案に取り入れる自治体が出てきています。先進的に“デザインの視点”を導入している自治体の事例などを交え、行政政策におけるデザインの重要性と効果について研究を行っています。



デザインの視点を行政政策に導入している事例：「さがデザイン」専用ウェブサイト

メールマガジンのご案内

当研究所では“WISEメールマガジン”を発行し、HPの更新状況や、講演会・セミナー等のご案内などをお知らせしております。

登録ご希望の際は、下記アドレスの「WISEメールマガジン」から、必要事項をご記入の上お申し込み下さいませようお願いいたします。

URL : <http://www.wsk.or.jp>

賛助会員 募集中!

◎会費：1口 2万円（年間）

◎特典：刊行資料の配付、調査・研究成果の提供、講演会・セミナー等への参加、情報提供等